

議員提出第 3 号議案

東京オリンピック・パラリンピックの開催を中止することを求める  
意見書

上記の議案を提出する。

令和3年6月21日

提出者	府中市議会議員	竹	内	祐	子
賛成者	〃	西	の	な	お美
	〃	奥	村	さ	ち子
	〃	赤	野	秀	二

## 東京オリンピック・パラリンピックの開催を中止することを求める 意見書

新型コロナウイルス感染症は、変異株の感染拡大など、世界的にも非常に厳しい状況が続いている。亡くなられた方は全国で1万人を超え、一刻も早い終息が求められており、東京オリンピック・パラリンピックの主たる開催地である東京でも予断を許さない状況が続いている。

今は、感染拡大の防止徹底による医療崩壊の回避、希望者へのワクチン接種の早期完了、生活困窮者や経営不振に苦しむ事業者等への救済措置の徹底に総力を挙げて取り組むべきである。

国民にワクチン接種が行き渡っていない状況で、東京オリンピック・パラリンピックを強行することは、人命尊重、国民生活尊重の観点から大きく逸脱する暴挙と言わざるを得ない。開催理念にも逆行するものである。また、子どもや学生の部活動や大会が中止になる中での開催強行は大きな矛盾であり疑問である。

共同通信社や大手新聞社の世論調査でも多数の国民がオリンピック開催に懸念の声を上げていることを報じ、政府分科会の尾身会長は「パンデミックの中での五輪開催は普通でない」と述べている。また、競技当事者であるアスリートも、新型コロナウイルス感染症の終息による正常な開催を期待する一方、複雑な思いを抱え中止や延期を表明する声もある。

緊急事態宣言の延長が行われ、終息とは程遠い現状を踏まえれば、責任を有する者が中止の決断をし、今夏の東京オリンピック・パラリンピックの中止を国際オリンピック委員会に申し入れるべきである。

よって府中市議会は、政府及び関係各機関が今夏の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の中止を決断し、新型コロナウイルス対策に全力を挙げるとともに、競技者が競技を継続できる支援策を講じることを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年6月21日

議 長 名

(宛先) 内閣総理大臣、東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック  
競技大会担当大臣、東京都知事